



国際通貨研究所メールマガジン（第 16 号 2013/7/10 発行）



Institute for International Monetary Affairs (IIMA)



<http://www.iima.or.jp/>

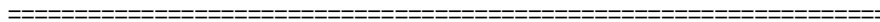


※本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから→ <http://get.adobe.com/jp/reader/>



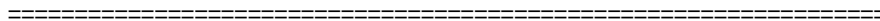
1. 理事長 行天豊雄のコラム 『出口の迷路』

FED の出口政策をめぐる思惑で震源地の米国から世界中の金融市場に波紋が広がった。6 月 20 日の公開市場委員会後の声明やバーナンキ議長の記者会見は当初は従来のスタンスと変化なしということで冷静に受け止められたのだが、…

（株式会社マネーパートナーズへの寄稿）

（全文はこちらから）

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2013/20130710gyoten.pdf>



2. IIMA 理事

本田 敬吉のコラム 『ブレトンウッズ III』

今月はブレトンウッズ会議から 70 年目の月にあたる。金交換が保証されていた公的保有の米ドルを礎としていたブレトンウッズ（以下 BW）体制は 27 年の短命に終わり、爾来今日に至る 42 年間われわれは礎の切れたまま海図な…

（IIMA メールマガジンへの寄稿）

（全文はこちらから）

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2013/20130710honda.pdf>

■ 今月の新着レポート

1. 「確かな未来に向けた成長への舵取り ～喫緊の処方箋と長期的課題」

3月に当研究所が開催の標記シンポジウムのオナーショナルペーパー（日本語版と英語版）を掲載

（日本語版） http://www.iima.or.jp/Docs/occasional/OP_No25_j.pdf

（英語版） http://www.iima.or.jp/Docs/occasional/OP_No25_e.pdf

2. 「2013年中の支援プログラム卒業が見込まれるアイルランド」

アイルランドの状況が改善している。経済は回復途上であり、各種構造調整も順調に進んでいる。同国に対する市場のコンフィデンスも改善しており、2013年中にはEU、IMFによる支援プログラムを卒業することが見込まれる。本稿では、アイルランド経済の現状とリスクについて紹介する。

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2013/NLNo_17_j.pdf

3. 「購買力平価で見たインドネシアルピア」

インドネシアでは、経済の好調が伝えられる一方、自国通貨であるルピアが軟調に推移している。ルピアの対ドルレートにおける購買力平価と実勢レートの比較を通じて、足元のルピア安の要因を分析する。

<http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2013/237.pdf>

4. 「途上国の農業と農業関連製造業について ～インドの農業部門をどう考えるか～」

インドは、通常の新興・途上国と同様に、経済の付加価値（GDP）における農業の比重は大きい。その一方で、所得水準が同レベルの他の国と比較した場合、農業関連製造業の比率が極めて小さいなど、その産業構造は特異である。インドの農業と農業関連製造業に焦点を当て、その特徴と経済に与えた影響を分析し今後の在り方を考えてみたい。

http://www.iima.or.jp/Docs/report/2013/no3_2013.pdf

5. 「第5回アフリカ開発会議（TICAD V）雑感」

資源価格高騰に押し上げられ高成長を続けるアフリカ。アフリカ大陸に急速に存在感を高める中国。そのような背景の下、6月1～3日にかけてアフリカの開発を広く議論する国際会議 TICAD V が横浜で開催された。冷戦終結直後の1993年に日本のイニシアティブで発足した TICAD は今年で20周年を迎えた。この機会に日本とアフリカの関係についてあらためて考えてみたい。

<http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2013/236.pdf>

6. 「2000年代の金融危機と外国為替相場の変動

～日本円と韓国ウォン相場の非対称性を中心に～

2000年代に入ってから金融市場の環境の変化の中での日本円と韓国ウォンの変動を分析し、短期、中期的な要素として、金融市場のリスクプレミアムと実質金利格差の2つの変数を使って説明する。

http://www.iima.or.jp/Docs/report/2013/no2_2013.pdf

■ 今月の IIMA

7月は当研究所のメンバーが複数の国際会議に参加します。8日から開催される ABAC (APEC Business Advisory Council) 京都会合では、2012年度の ASEAN 事務局委嘱調査「アジアの信用格付機能の強化」をベースとしたコメントを、同じく8日から始まる ICCBE (International Conference of Commercial Bank Economists) ケープタウン会議では「日本経済とアベノミクス」の解説を行います。

また、16日に KAS (コンラードアデナウアー財団) と共催するワークショップでは、「日本の財政・金融政策」について報告します。この会合では欧州や近隣アジアから集まったスピーカーが各国の現状を踏まえ議論を行います。その模様は、後日当研究所ホームページでご紹介しますので、皆さま是非ご覧下さい。

次号：2013年8月8日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

◇発行◇*****

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

***** Copyright (C) IIMA All Rights Reserved. *****